

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
1	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	公共交通機関の整備促進に要する経費	都市計画課			①成田空港機能の充実を図り、東京都心と成田空港とのアクセスを改善し空港利用者の利便を確保するとともに、千葉県北西部等の交通利便性を向上させるため補助等を行うもの。 ②成田新高速鉄道事業に係る補助金交付要領等に基づく事務処理(補助金返還・納付)を適正に実施する必要がある。	—	146	6精査・検証	①補助金交付要領等に基づき適正に事務処理を行っており、令和2年度も引き続き同様の業務に取り組む必要があるため。 ②令和2年度においても同様の課題に対する事務処理が見込まれたため、令和2年当初予算に予定額を計上し対応した。	582
2	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	コミュニティバス運行助成事業	都市計画課	○	○	①市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図るもの。 ②運行ルート、バス停留所の改善要望や高齢者等の移動確保等、コミュニティバス利用者の利便性と持続可能な運行について検討する必要がある。	47,000	48,410	6精査・検証	①高齢化社会の対応として、地域活動や生涯学習などの参加からコミュニティバスの運行は必要不可欠であるため。 ②コミュニティバス運営検討委員会の提言を踏まえた新たな運行計画を作成し、コミュニティバスの継続運行を行う。	48,134
3	一般	8	4	3	322利便性の高い公共交通体系の充実	新京成線連続立体交差事業	道路河川整備課	○	○	①本市の東西を走る新京成線を高架化し、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等を解消する目的で、県が事業主体となり事業を実施する。 ②旧踏切、仮線などがあり、市街地が分断されている。	529,124	399,272	7拡充	①市街地の分断解消に向け、早期完成が必要であるため。 ②早期に周辺整備工事に着工できるよう仮線撤去工事を進める。	437,031